

# 管理所レビュー VOL.12

(H30.10.5 水源林管理所)

9月26日(水)の第13回のボランティア活動日は、1日を通して肌寒い雨模様の天候ではありましたが、予定どおりに間伐作業を実施することが出来ました。皆様、大変お疲れ様でした。

道志村では、先日の台風24号の影響により、停電、断水、村内各所での倒木などの被害がありました。

作業地内でも普段と異なる状況があるかもしれませんので、安全に配慮した作業をお願いします。それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

## 1 50名のご参加、ありがとうございます。



厚い雲が立ち込めています。



準備体操もしっかりと。



キンモクセイの香りが漂っています。

## 2 作業の様子とワンポイントアドバイス。



隣接班の作業は十分な間隔を！



周囲の確認が大事です。



ロープの引き手は伐倒木に注目。



濡れた丸太は滑りやすいので注意！



集積は、いずれかの木口を揃えて。



濡れた傾斜地の作業は要注意！



目標方向に伐倒完了。



ツルの機能が十分働いています。



あいにくの天候となりました。

### 3 周囲の状況を見極めて。

林内の状況はその場によって違い、同じ状況の林はありません。真っ直ぐに伸びたスギやヒノキの林に比べ、傾斜して生えている松や広葉樹などがある場合は、危険なかかり木となる可能性が高くなりますので、伐倒の際には十分注意してください。

また、樹高が高く伸びのある立木は、倒してみると思った以上に長いものです。伐倒の前には、安全な退避位置の確認を必ず行ない、伐倒時には、伐倒の合図を確実に行ってください。

※ インストラクターは林内の状況を見極めて、危険を予測しましょう。危険の可能性のある場合は、その情報を参加者全員が共有できるような声掛けと安全のための指示をしてください。



林内に傾斜して生えている松。



所々に広葉樹も生えています。



スギは、樹高の高いものが多い。

### 4 ご参加、ありがとうございます。

今回の活動に、株式会社ヨロズ様から2名が参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするこの活動が、環境貢献活動に積極的に取り組まれている企業、団体様などの参加により、ますます広がることを期待します。ご参加、ありがとうございました。



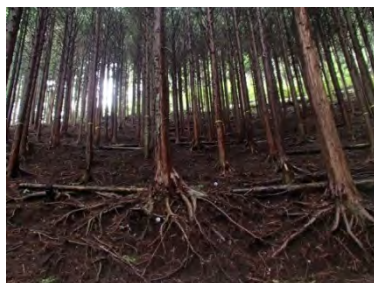
株式会社ヨロズ様。  
(掲載許可済み)

### 5 作業地内の様子について。

道志水源林ボランティアの会の皆さんの地道な間伐作業のお陰で、現在の作業地内の環境が少しずつですが、確実に改善されてきています。

しかし、いざ地表に目を向けると、根がむき出しになっている状態が見られます。これは、地表に光が届かず、長年にわたり下草が生えない状況のまま、雨などによって土壌が少しずつ流されたためです。

この状態の回復には、林内の光環境を改善するための適切な間伐の繰り返しが必要となります。今後も大事な水源保全のため、適切で安全な間伐作業の実施をよろしくお願いします。



根がむき出しとなったヒノキ林。



間伐により上空が空き、光が差し込みます。

※ 10月10(水)は、曇り時々晴れ、最高気温24度、降水確率30%の予報となっています。

※ 出発前には、最新の天気予報をご確認ください。

**★それでは10月10日、気をつけてお越しください。**